

平成 29 年 9 月吉日

関係各位

公益社団法人沖縄県不動産鑑定士協会
会 長 大 城 直 哉
(職印省略)

土地月間に係る無料相談会と記念講演会のご案内

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の運営にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、国土交通省主唱の土地月間実施に伴い、無料相談会と記念講演会を下記のとおり開催することになりましたのでご案内申し上げます。

つきましては、何卒同活動の趣旨をご理解くださり貴関係等の皆様へ、ご案内して頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、無料相談会は直接会場にて受付をします。講演会へ参加ご希望の方は「講演会参加申込書」にて当協会事務局までお申し込み下さい。

謹白

記

『不動産に関する無料相談会』～予約不要当日会場にて受付～

日 時 : 10月11日(水) 午前10:00～午後4:00
場 所 : 沖縄県本庁舎 県民ホール1階
内 容 : 土地・建物の価格、賃料、有効利用などについての相談に応ずる。
主 催 : 公益社団法人 沖縄県不動産鑑定士協会
共 催 : 沖縄県、公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会
後 援 : 国土交通省、一般社団法人九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会

『土地月間に係る記念講演会』～別紙申込書にて受付～

日 時 : 10月13日(金) 13:50開会 16:40閉会予定(受付開始13:00)
場 所 : 沖縄県庁4F講堂
第1部 : テーマ『持続可能な観光地域社会とは』
内 容 キャリングキャパシティ、災害リスク等の観点から観光地域社会の持続可能性について
講 師 琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース 准教授 神谷 大介 氏
第2部 : テーマ『沖縄の観光振興に貢献するインフラ整備』
内 容 沖縄観光振興に貢献するインフラ整備について取組を紹介する。
講 師 沖縄総合事務局 開発建設部 企画調整官 望月 拓郎 氏
定 員 : 120名(参加費 無料)定員になり次第締切ります
主 催 : 公益社団法人 沖縄県不動産鑑定士協会
共 催 : 沖縄県
後 援 : 一般社団法人 九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会

※台風接近時の対応について

「暴風警報」発令等により公共機関が運行中止する場合は、無料相談会と記念講演会を延期もしくは、中止する場合がありますので、予めご了承願います。

記念講演会参加申込書

平成 29 年 月 日

公益社団法人 沖縄県不動産鑑定士協会 事務局 宛

FAX 098-869-9181

日 時：10月13日（金） 13：50～16：40 （13：00受付開始）
場 所：沖縄県庁4F講堂（那覇市泉崎1-2-2）
第1部：14：00～15：10
テーマ 『持続可能な観光地域社会とは』
内 容 キャリングキャパシティ、災害リスク等の観点から観光地域社会の持続可能性について
講 師 琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース 准教授 神谷 大介 氏
第2部：15：30～16：40
テーマ 『沖縄の観光振興に貢献するインフラ整備』
内 容 沖縄観光振興に貢献するインフラ整備について取組を紹介する。
講 師 沖縄総合事務局 開発建設部 企画調整官 望月 拓郎 氏
参加費：無料
定 員：120名（定員になり次第締め切ります。）

団体・所属名 _____

連絡先電話番号 _____

FAX番号 _____

参加申込者ご氏名

1	6
2	7
3	8
4	9
5	10

【お問合せ先】公益社団法人沖縄県不動産鑑定士協会 事務局（亀川・呉屋）
電話番号 098-867-6275

平成 29 年度「土地月間」イベント

不動産価格の専門家「不動産鑑定士」による

無料相談会



- ☑不動産の価値を知りたい
- ☑土地の有効利用について
- ☑不動産相続を公平に分けたい
- ☑借地・借家に関する相談
- ☑不動産市場の動向など

予約不要です。

日時：平成 29 年 10 月 11 日 (水) 10:00~16:00

会場：沖縄県庁 1F 県民ホール (那覇市泉崎 1-2-2)

お問い合わせ先 公益社団法人 沖縄県不動産鑑定士協会
TEL098-867-6275

共催：沖縄県、公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会

後援：国土交通省、一般社団法人九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会

毎月第 2 水曜日にも
協会事務局にて無料相談所
を開設しています。
(完全予約制)

平成 29 年度 土地月間記念講演会のお知らせ

主 催：公益社団法人 沖縄県不動産鑑定士協会

共 催：沖縄県

後 援：一般社団法人 九州・沖縄不動産鑑定士協会連合会

日 時：平成 29 年 10 月 13 日（金） 13 時 開場 / 13 時 50 分 開会

場 所：沖縄県庁 4F 講堂

参加費：無料

事前に当協会事務局までお申し込み下さい。

定 員：120 名

定員になり次第締め切りとさせていただきます。

~~~~第 1 部~~~~

「持続可能な観光地域社会とは」

講 師 神谷 大介 氏 [琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース 准教授]

概 要 沖縄県において観光産業は経済において重要です。このことは他の島嶼地域においても同様です。一方で、観光客数増加がもたらす負の影響もあります。観光資源は『資源』である以上、適切なマネジメント無くしてはその価値を失うこととなります。講演ではキャリングキャパシティ、災害リスク等の観点から『観光地域社会の持続可能性』についてお話しします。

[講師略歴等] 1976 年 兵庫県生まれ。2003 年 3 月 京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了 博士(工学)取得。同年 4 月 琉球大学工学部助手採用。

現在、同校准教授。島嶼防災研究センター兼任、関西大学社会空間情報センター客員研究員
主な著書：『途絶する交通、孤立する地域』東北大学出版会（共著）

『島嶼型ランドスケープ・デザイン 島の風景を考える』沖縄タイムス（共著）

主な論文：『沖縄県離島地域における湧水問題と観光の影響に関する分析』土木学会論文集 G(環境)（共著）過疎地域における近所間の認知関係を考慮した要援護者の避難支援方策の検討-沖縄県渡名喜村を対象として- 土木学会論文集 F6（安全問題）共著

~~~~第 2 部~~~~

「沖縄の観光振興に貢献するインフラ整備」

講 師 望月 拓郎 氏 [沖縄総合事務局 開発建設部 企画調整官]

概 要 沖縄県経済のリーディング産業として位置づけられる観光産業。平成 29 年 3 月 沖縄県は「第 5 次沖縄県観光振興基本計画」において、平成 33 年度目標フレームの 1 つである入域観光客数を 1,000 万人から 1,200 万人へ上方修正し、改定を行った。

県民にとって、安心・安全、便利で質の高いインフラ整備が、観光客 1,200 万人を目指す沖縄において、如何に観光と関わり、観光振興に不可欠なものか。その目指す姿について、沖縄総合事務局開発建設部の取り組みを紹介する。

[講師略歴等] 昭和 49 年生まれ。平成 11 年 4 月建設省入省。平成 21、22 年度の 2 年間、内閣府沖縄振興局で勤務。その後、国土交通省道路局交通安全対策室等を経て、平成 29 年 4 月より現職

お問合せ先 公益社団法人沖縄県不動産鑑定士協会事務局 電話番号 098-867-6275